

2025 年 7 月 31 日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

トルクシステム株式会社の株式譲渡について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン 3 号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、本日、トルクシステム株式会社（本社 愛知県大府市、代表取締役 北原真一、以下「トルクシステム」）の全株式を、株式会社バルカー（本社 東京都品川区、代表取締役会長 瀧澤利一、代表取締役社長 瀧澤利治、以下「バルカー」）へ譲渡いたしましたのでお知らせします。

トルクシステムは、2002 年の創業以来、大規模なプラントで使用される大口径のボルトを締め付ける特殊工具の販売・レンタルの事業を拡大し、同業界におけるシェア 1 位の地位を確立しています。全国の工業地域等に密着した拠点展開と、同業界において求められる商品を幅広く揃えることで、業界内でも厚い信頼を得ている企業であります。我が国の装置産業では、建設から数十年が経過したプラントや設備が増えており、建物の長寿命化のため保全・保守メンテナンスの必要性が増しており、トルクシステムの事業は循環型社会の実現を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進にも大きく貢献しております。

弊社は、トルクシステムの役員及び従業員との信頼関係をベースに、長く安心して働ける組織づくりや、ガバナンスの強化等に取り組み、同社が将来にわたって持続的に発展できるよう支援してまいりました。

トルクシステムがバルカーグループの一員として、今後更なる成長を実現することを祈念いたします。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 23 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン 1 号から 4 号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、大谷 連絡先：03-5532-8921